

## (大腸癌)\_Cmab+FOLFIRI療法

1クールの日数： 14 日間

注射	薬品名	投与量	投与方法	時間	投与日
Rp1	生食	250 mL	div	ルートキープ	day1
Rp2	パロノセトロン	0.75 mg/50 mL	div	15分	day1
	デキサメタゾン	6.6 mg/2 mL			
	クロルフェニラミン	5 mg/1 mL			
Rp3	生食	250 mL	div	120分	day1
	セツキシマブ	400 mg/m <sup>2</sup>			
Rp4	生食	100 mL	div	60分	day1
Rp5	5%ブドウ糖液	250 mL	div	120分	day1
	イリノテカン	150 mg/m <sup>2</sup>			
Rp6	5%ブドウ糖液	250 mL	div	120分	day1
	レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>			
Rp7	生食	50 mL	div	急速投与	day1
	フルオロウラシル	400 mg/m <sup>2</sup>			
Rp8	生食	適量	div	46時間	day1-3
	フルオロウラシル	2400 mg/m <sup>2</sup>			
Rp1	生食	250 mL	div	ルートキープ	day8
Rp2	生食	50 mL	div	15分	day8
	デキサメタゾン	6.6 mg/2 mL			
	クロルフェニラミン	5 mg/1 mL			
Rp3	生食	250 mL	div	60分	day8
	セツキシマブ	250 mg/m <sup>2</sup>			
Rp4	生食	100 mL	div	60分	day8

### 【備考】

- ・セツキシマブは、2回目以降250 mg/m<sup>2</sup>で投与。  
初回は総量300 mL、2回目以降は総量250 mLとなるよう生食の量を調整。
- ・セツキシマブの投与時間は、初回120分、問題なければ2回目以降60分まで短縮可。
- ・イリノテカン、レボホリナートは同時投与。
- ・持続投与のフルオロウラシルは、総量100 mLとなるよう生食の量を調整。  
シュアフューザーポンプを使用。